



幸手ロータリークラブ

RI テーマ The Magic of Rotary 「ロータリーのマジック」

地区運営方針「未来を見据えて変化しよう」「多様性をカに」

クラブテーマ「楽」 Enjoy Rotary ~楽しくなければロータリーじゃない広げよう奉仕の輪

第2661回 2024.8.21 幸手桜高校IA (演劇部) 助成金進呈

ビジター紹介	1. 埼玉県立幸手桜高等学校 校長	矢島 誠 (やじま まこと) 様
	2. " 演劇部 顧問	四十物史幸 (あいもの ふみゆき) 様
	3. " インターアクト部 顧問	鈴木 薫 (すずき かおる) 様
	4. " 演劇部	青木誠也 (あおき せいや) 様
	5. "	中村光太 (なかむら こうた) 様
	6. "	渡部静香 (わたべ しずか) 様



学生挨拶

幸手桜高等学校 3年 青木誠也 様

私は、演劇部を中心として活動しています。多く行われるボランティア公演では、ちんどんパフォーマンスをやっています。この活動は、平成18年（2006年）から令和6年（2024年）の今まで続いています。私は、11代目口上役を務めており、福祉施設や地域のおまつりなどに多く参加してきました。演劇部は、「幸手市しあわせ応援大使」に選ばれたことで、長年発表の機会に恵まれて、ありがたくまたのびのびと発表できていることに、感謝の気持ちを述べさせていただきます。仲間とともに、さらにもっと盛り上げていきたいと考えています。また、2024年8月9日のインターアクト年次大会に参加させていただき、他校の雰囲気やさまざまな活動の様子がわかり、よい機会になりました。特に、伊奈学園総合高校による、不登校と「いじめの現状」についてのプレゼンテーションでは、今まで自分がもっていた情報にくらべて、不登校の生徒が増えていることを実感することになりました。私は、社会福祉士をめざしていることもあり、インターアクトを通して学んだことは数多くありました。他校生に対して意見質問もしたかったのですが、言えませんでした。質問意見ができる時間を設けることで、さらに生徒間の交流が増えていくと思います。

幸手桜高等学校 1年 中村光汰 様

私は、演劇部に入り、6月に権現堂でのあじさいまつり、8月には春日部市大枝地区のおまつりや、フローラ幸手での公演に参加しました。もっともつかったことは、笑顔の大切さを学びました。入部して初めての公演でうまく立ちまわれずに、顔が無表情になってしまい、先生や先輩におこられてしまいました。でも次の公演で、笑顔を意識したら、少しマシになり自信がついていきました。私はまだまだ努力が必要です。私は、福祉の仕事につきたいと考えているのでこれからも演劇部でがんばっていきたくと思っています。

幸手桜高等学校 1年 渡部静香 様

私は、演劇部に入り、パフォーマンス公演に多く、出場してきました。演劇部では4月に春季地区大会があり、他校とともに演劇の真髄を感じとり、高校演劇の魅力を多くの方々に広めていきたいと思いました。9月には、コンクールとしての秋の地区大会が開催されます。今年の夏休みには、幸手のフローラ幸手での施設公演をはじめ、行田納涼祭、春日部市 大枝公園夏まつり、宮代町 みどりの森での施設公演、杉戸高野台駅前での納涼浴衣まつり、白岡のずいせん長寿村での納涼祭（花火大会）、蓮田おおるり納涼祭、と多くたくさんの方々の経験をさせてもらいました。見てくれる方々のために、これまで以上のよい演技ができるように、もっと自分をみがき上げていきたいと思っています。また、インターアクトクラブとして、8月9日に松伏エローラで開催された、インターアクト年次大会に見学参加をさせていただきいただきました。いろいろな高校の活動や研究成果の発表を見ることができ、普段では経験できないことを見聞きすることができたので、たいへん勉強になりました。海ごみであるマイクロプラスチックと一緒にした海中の有害物質が、プラスチックに付着して、それを魚が食べるという環境問題の現実を思い知らされました。これらに対しては、SDGsの目標である「持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」を掲げて、おおぜいで地域に根ざして青少年でもできることを考えて実践していくことの重要性を実感できました。高校生でも、できることはたくさんあり、仲間をふやして実践できる活動をしていくことが、必要であると痛感しました。